

# 山形西高茶道部便り 令和3年度冬号

山形西高茶道部は1年15名、2年6名、3年13名で、外部講師の森谷由美子先生と冨樫幸子先生から温かく導いていただきながら令和3年度は活動してきました。昨今のコロナ禍でどんな活動ができるか、年度当初は手探りでしたが、空点前の稽古に始まり、夏休みには校内での一日通しの稽古（模擬茶事の体験、着付け練習）、嚶鳴祭でのお点前披露、秋以降は各月に季節に合わせたお茶会などを行い、充実した活動を行うことができました。毎回のお稽古のまとめには、先生方から掛け軸や季節の言葉などを教えていただき、自分が身を置いているところについて考えを深めることができました。各月のお茶会で半東担当になった生徒は、季節に応じたセリフを自分で考え、自分の言葉で皆に伝えることになっています。その情景が思い浮かぶような生き生きとした表現で銘も各々が考え、お茶を通して自然への関心も更に深められたようです。お点前と半東を担当した生徒からのコメントを掲載します。



## 9月「名月の茶会」(1年お点前担当)

名月の茶会で初めてお点前を披露しました。私は盆略点前をしました。床には、「掬水月在手」という軸が飾られ、静かな空間で少し緊張もしてしまいましたが、最後までしっかりできて、少し安心しました。また、お軸のことや、一つ一つの動作など様々なことを教わり、とても良い経験をしたと感じました。このお茶会での経験も含め、今後もより一層稽古に励んでいきたいと思っています。

## 10月「実りの茶会」(2年半東担当)

秋の収穫を祝して、実りの茶会を行いました。お菓子の「一粒万倍」、掛け軸の「開門落葉多」、お干菓子は吹き寄せ、お床にはかぼちゃなどを飾って、茶道と自然との深い結びつきを五感で感じる事ができたお茶会でした。



## 11月「三年生激励茶会」(2年半東担当)

私たち茶道部は、3年生の受験を応援すべく、激励茶会を催しました。時期は少し遅かったのですが、「亥の子餅」を用意して、お世話になった先輩方への感謝を伝えるとともに、実りへの感謝や先輩方の進路実現を願い、心を込めてお茶を点てることができました。3年生の皆さん、頑張ってください。

## 12月「クリスマス茶会」(1年お点前担当)

初めて人前でお点前を披露しました。半東担当の人とは、部活動の時間の中ではなかなか一緒に練習する機会がなかったため、休み時間に自主練をするなど、練習時間を確保して、本番では息を合わせることができました。覚えるのが難しい動きもたくさんありましたが、一つ一つに意味があることを知ることでスムーズにお点前をすることができるようになりました。おいしいお茶となるよう、丁寧に点てることができ、春から始めたお稽古もやってきてよかったと感じました。

